

○毎日耳にする情報はコロナのことばかりで、普段の生活も普段通りにいかず、緊急事態宣言が延長されるたびに不安ばかりがよぎっています。学校の勉強は大丈夫かしら？ こんなに休みばかりで、学校や幼稚園が始まっても大丈夫かしら？この休みに何かやっておかなくてはいけないかしら？など、気づくと色々心配ばかりしてしまうのです。

さて子供たちは、、、、という、もちろん普段通りの生活に嫌気がさしている節もあり、兄弟で喧嘩もし、どこかへ出かけたいと愚痴も言います。ですが、気づくと普段しないような遊びを工夫してやっていたり、本がゆっくり読めるからいいや、と自分たちなりに工夫をして一日を過ごしているのです。子供から心配という文字はないのかな？と思うように、淡々と一日を過ごしている姿を見て、子供は自分の置かれた状況にすぐに順応し、前を向いているんだな、と気づかされました。

きっと、不安もあるのだと思います。ですが、私と違って、できないならできないなりに工夫をし、不安や心配事ばかりに目を向けるのではなく、常に前を向いて生きているんだなあ、と。とても強いなあ、と思いました。

きっと、しばらくは今まで通りの生活とはいかないと思います。ですが、子供を見習って前を向いて生活していこうと思います。そして、不便だからこそ得るものがある、ということに感謝して日々を過ごしたいと思います。

○子供達は元気に過ごしており、我が家で決めたルールを守り、家庭の中で自分の力を使ってくれています。

お祈りや、メッセージも楽しみにしています。

二人で一緒に遊んだり、それぞれ何かにぐっと集中している時間も、「今こんな事をするのが好きなんだな」や「いつの間にかこんなに工夫してできるようになったのね」と気付く事がたくさんあります。

一方で長女のマイペースさ、次女の頑固さ、どちらも悩ましくつい感情的になり、後で自己嫌悪に陥る事も多々あります。いつもと違う生活リズム、外に出る機会が減り、普段なら気にならないささいな事に反応してしまいます。私が不安定な時は、長女が「ママ、これお手伝いしようか？」や妹に対して、「さっきの事ママに謝ろうね」などフォローしてくれる優しい一面が見え、助けられています。親のストレスが子供に伝わってしまう、、、、いけないな、、、、と。子供達も色々我慢しているはずなのにと申し訳なくなります。

園だよりを読ませて頂いて、「観察すること」を再認識しました。長女はマイペースだけれど、自分なりのルーティンがあり、あまり周りに動じず「私は私」と落ち着いている気がします。のんびりしているから「そうだよね」とこちらの意見も受け止めてくれる器を持っています。次女は、いつもエネルギー全開で、「こうだから嫌だ、しない、行かない」をはっきり示してくれます。やる気を出すと、集中してやり切っています。家で過ごす時間が増えた今こそチャンスだと思い、見守ってまいります。

最近の悩みは、子供がやりたくない時、頑張れない時、苦手な事ができずに怒っている時の対応です。寄り添ってやりたいと思いながら、「何でやらないの？」「そうじゃないでしょ！」など否定的な言葉をかけてしまいがちになります。園だったらどんな風に見守り言葉がけをして下さるのだろう？と考えています。

幼稚園再開までまだしばらくありますが、神様はきっと、どんな困難も乗り越えられる力を与えて下さっていると信じています。今後とも宜しくお願い致します。

○先生方元気にされてますでしょうか？

我が家は朝も6時に起き、夜も7時半には寝る規則正しい生活をしています。

2人ともすぐ元気で、主人も休業で家にいてくれるので、4人でのんびりと過ごしています。

コロナの影響で休園が続き、はじめの頃は毎日過ごそうかなと不安もありましたが、2人にはそのような気持ちは一切なく、今お家で何をして遊ぶか、毎日色々なことをやってみて楽しく過ごしています。

ある日は風船で部屋を埋め尽くして遊んだり、ある日は2人でお家ごっこをしたり、私の手伝いも頑張ってくれたり、毎日あっという間に過ぎていきます。

RのAさんの姿、OのCさんの姿を見るのがすごく楽しみでしたが、もう少し事態が終息に向かいまた幼稚園に元気に通える日を楽しみに待っています！

今日は2人で壁に色々な魚を作って貼って水族館にする予定です。



(園長より)

素敵な水族館でしょう。楽しんでできたのでしょうか。今日の3人のお母様は、子どものことをよく観察されているなあと思いました。子ども同士で過ごしている時、きっとそばで見守っておられるのでしょう。そっと観ていると、子どもの考えやアイデア、思いに気付くことがあります。大人が主導して進めてしまうと、子どもが考えたり、アイデアを出したりするチャンスを知らず知らずのうちに奪っているのかもしれない。

子どもに「どう思う?」「どんなふうにやりたい?」と聞くと、意外と良いアイデアがあったりして、思わず「なるほど・・・いい考えだね!」と言うこともあります。子どもは、大人に「いい考えだね!」と言われると、自分で考えることが認められ、嬉しい気持ちになり、考えて進める楽しさを知ります。今、考えるチャンス(時間)をいっぱいあげて、自分の思いを表現したり、伝えたりできる時間になればと思います。あせらず、ゆっくりと・・・ですね。